

グリッド・コントロール・システム IGCS脆弱性開示ポリシー

1. 目的

本ポリシーは、当社が提供する製品および関連ソフトウェアに関するセキュリティ上の脆弱性の報告を受け付け、適切に対応するための方針を定めるものです。当社は、別途契約に基づく場合を除き、製品の安全性および信頼性を維持・向上させるため、本ポリシーに従い、善意に基づく脆弱性報告を歓迎し、報告者との協調的な対応を行います。

2. 対象範囲

本ポリシーは、以下を対象とします。

- 当社が製造・提供する IGCS および関連ソフトウェア
- 当社が提供するファームウェア、アプリケーション、Web UI 等

※ 他社製品や、顧客固有の環境設定に起因する事象は対象外となる場合があります。

3. 脆弱性報告の受付方法

当社は、セキュリティに関する報告を以下の方法で受け付けます。

- 受付窓口：<https://www.hitachi-power-solutions.com/energy/wind-solor/battery/index.html>
- 件名例：「蓄電池システムサービス【脆弱性報告】」
- 記載内容（推奨）
 - 製品名、型番、ソフトウェア／ファームウェアのバージョン
 - 脆弱性の概要
 - 再現手順（可能な範囲で）
 - 想定される影響内容

※ 5営業日以内にお客様からの報告を受領した旨のご連絡を差し上げます。

4. 報告受領後の対応および報告者との連絡方法

当社は、受け付けた脆弱性報告について、以下の手順で対応します。

(1)報告の受領確認

- 報告内容を確認し、必要に応じて報告者へ受領連絡を行います

(2)内容の精査・影響評価

- 脆弱性の有無、影響範囲、重要度を評価します

(3)報告者との連絡

- 追加情報が必要な場合、報告者に連絡を行います
- 原則として、電子メールにより連絡を行います

(4)対応方針の決定

- 修正、回避策、運用上の注意等の要否を判断します

※ 対応状況や詳細な技術情報について、すべての問い合わせに個別回答することを保証するものではありません。

5. 脆弱性への対応方法

当社は、対応が必要と判断した脆弱性について、以下のいずれか、または複数の方法で対応します。

- ソフトウェア/ファームウェアの修正およびアップデート提供
- 回避策や設定変更方法の案内
- 影響が軽微な場合の情報提供

対応時期および方法は、脆弱性の重要度や影響範囲を考慮して決定します。

6. 情報公開に関する方針

脆弱性情報の公開については、利用者への影響を考慮し、

修正または回避策の提供後に、必要に応じて情報を公開します。

公開の方法や時期については、報告者と協議する場合があります。

7. 善意の報告者に対する法的配慮

当社は、以下の条件を満たす **善意のセキュリティ報告** について、

法的措置を行わない方針とします。

- 不正な目的を持たず、製品の安全性向上を目的としていること
- 本ポリシーに従い、過度な負荷やサービス妨害を行わないこと
- 個人情報や顧客データを不必要に取得・公開しないこと

本ポリシーに基づく報告行為について、

当社は **不正アクセス等に関する法的責任を追及しないよう配慮**します。

※ ただし、法令違反行為や悪意ある行為が認められる場合はこの限りではありません。

8. 免責事項

- 本ポリシーは、すべての脆弱性の不存在や完全な安全性を保証するものではありません
- 報告への対応や修正を必ず行うことを保証するものではありません
- 脆弱性の検証などにより発生した損害について、当社は責任を負いません。
- 本ポリシーは予告なく変更される場合があります

9. 改訂履歴

- 2026年5月 制定

以上